

Eniwa Bio Gas Power

恵庭バイオガスパワー

再生可能エネルギー発電所

事業概要

事業名 恵庭下水終末処理場 バイオガス発電事業
事業者 水ingエンジニアリング株式会社
施設名 恵庭バイオガスパワー
施設概要 50kw バイオガスエンジン×9台(発電容量 450kw)
総発電量 約60,000,000kWh*
事業期間 2020年4月1日～2040年3月31日
*事業期間における総発電量

施設所在地

北海道恵庭市中松島453 恵庭下水終末処理場内



お問い合わせ先

水ing エンジニアリング 株式会社

〒108-8470 東京都港区港南1-7-18
TEL 03-6830-9055(代表) FAX 03-5479-8592
<https://www.sec.swing-w.com>

Swing Engineering Corporation

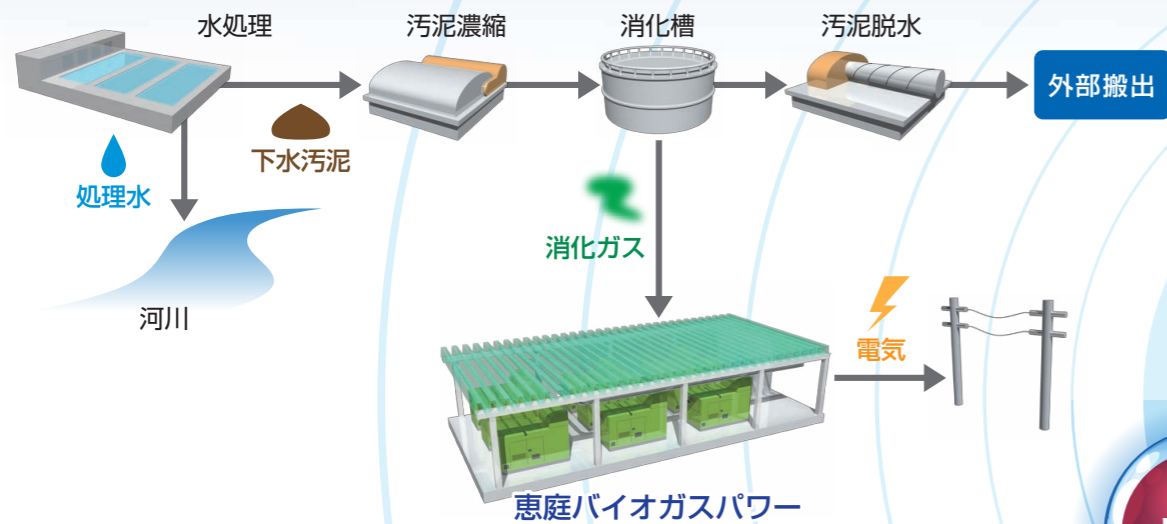
水ing エンジニアリング

Eniwa Bio Gas Power 恵庭バイオガスパワー

再生可能エネルギー発電所

恵庭バイオガスパワーは、
地球環境にやさしい再生可能エネルギー発電所です。

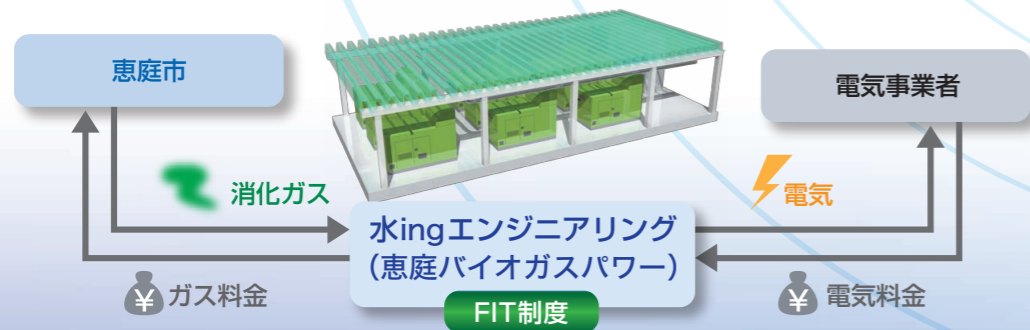
発電の仕組み



下水処理場から発生した汚泥を消化槽で発酵し、
その際に生じる消化ガスを燃料として利用し、電気を作ります。

PPP(公民連携)事業

民設民営方式によるPPP事業です。

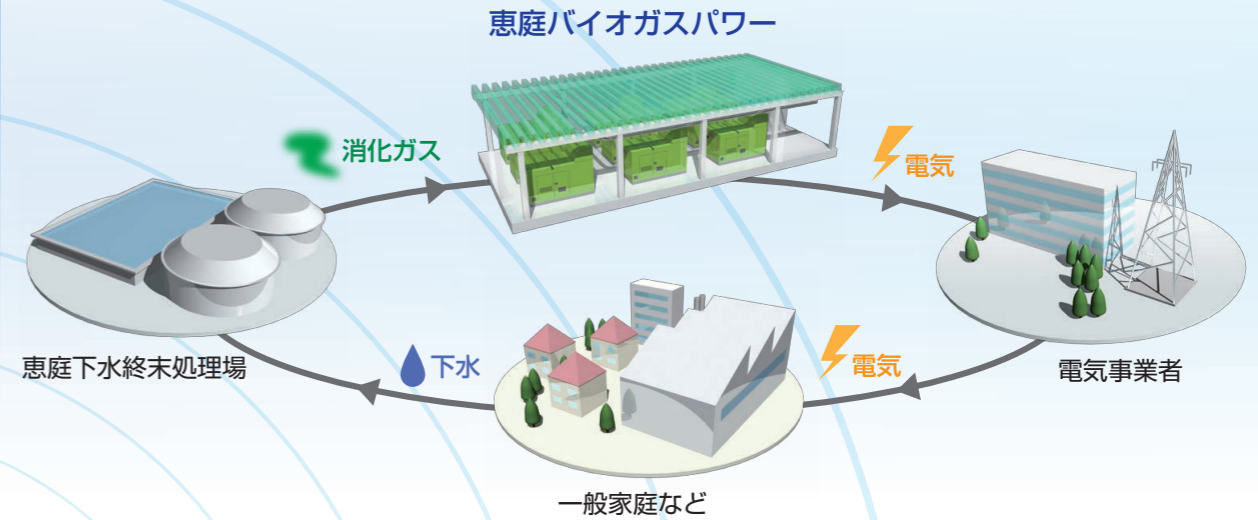


- ▶ FIT制度※を活用し水ingエンジニアリングが事業者として発電施設を建設し、運営を行います。
- ▶ 恵庭市から購入した消化ガスを燃料として発電し、電気事業者に売却して運営費用をまかさないです。

※FIT: 固定価格買い取り制度。エネルギーの買い取り価格を法律で定める方式の助成制度。

再生可能エネルギーによる発電

再生可能エネルギー(消化ガス)の有効利用によって、
地球環境に貢献します。



- ▶ 恵庭下水終末処理場で発生する消化ガスを利用し、
事業期間(20年間)において約6,000万kWh発電します。
これは一般家庭約16,700世帯分※に相当します。

※1世帯当り 300kWh / 月として計算。

再エネ
発電

恵庭バイオガスパワー
3つの
キーワード

PPP

水ing
エンジニアリング

水ingエンジニアリング

恵庭バイオガスパワーには、水ingエンジニアリングが長年
培ったバイオマス技術のノウハウが活かされています。

地域バイオマス+
PFI事業



黒部下水道バイオマス
エネルギー利活用施設
(下水汚泥等、ディスパーザ
生ごみ+珈琲粕)

地域バイオマスの
メタン発酵



日立セメント(株)
神立資源リサイクルセンター
(家庭系生ごみ他、
食品廃棄物全般)

高効率リン回収+
肥料化



2012
B-DASHプロジェクト
(リン除去・回収)

FIT制度を活用した
消化ガス発電



鶴岡バイオガスパワー
2015年10月事業開始

- ▶ 水ingエンジニアリングは今後も消化ガスの有効利用をはじめとする、
お客様のニーズに合致したソリューションを提供してまいります。